



の整備経過と、市民活動の支援について

茨木市の紹介

茨木市 市民文化部 共創推進課

茨木市の基本情報

面積 76.49km²

人口 286,120人 (R6.9月末)

- 特徴**
- ① 交通の要衝
ＪＲ２駅、阪急３駅、大阪モノレール２駅
名神高速道路ＩＣ、新名神高速道路ＩＣ
 - ② 「川端康成」ゆかりのまち
市制70周年を記念し、映画「葬式の名人」を製作
 - ③ まち半分山半分
豊かな山間部まで車ですぐ
令和6年4月 市北部に「ダムパークいばきた」の一部エリアがオープン



中心市街地

ＪＲ茨木駅～阪急茨木市駅周辺



おにクルの概要

- ・伊東豊雄氏（プリツカー賞受賞者）設計
- ・竹中工務店・伊東豊雄建築設計事務所
共同企業体



ちなみに

「おにクル」という名前の由来

一般公募を行い、市民投票を経て決定

● 応募総数 2677件 2021.11.1～12.15

● 一次選考で14案に絞り 市民投票 3473件 2022.1.17～2.15



市民投票及び有識者の意見などを踏まえ、市内に住む当時6歳のお子さんが考えた「おにクル」に決定

怖い鬼さんも楽しそうで来たくなっちゃうところ

おにクルの来館者数

● R6.6.6（194日目）100万人突破



● R6.12.4（374日目）200万人突破！！



8年かけて誕生した新施設（2015年→2023年）



「対話」からはじめ、「参加」を募り、市民が「主役」に

対話

ゼロベースのスタート。
「ハコモノ」にしないため、市民との
「対話」を基本に、プロセス重視で進める。

キーコンセプトが完成「育てる広場」
実際に使うのは市民！
みんなで実際に使ってみて、使い方の
方向性などに落とし込んでいく



参加

施設の設計や使い方（ルール）についても、
市民と一緒に考える。
意見を聞くだけでなく、一緒に考え作り上
げていく、「参加」のステップへ。

・おにクルの設計を考える
ワークショップ

主役

公共施設なら、「使う人」は市民。

「誰かが使うから」考えるのではなく、
市民が自ら「主役」になることが重要。

・社会実験「IBALAB」
・ミルミルフムフムツクール



「おにクルらしい」とは

『育てる広場』おにクルには、多様な“らしさ”があり
ますが、特に行政側としておにクルを「共創の中心地」
「実験場」と位置づけ、異なる機能や活動の連携により
相乗効果を生み出すような取組みを推進しています。

おにクルらしい取組み 開館前～開館後

おにも見にクルアート展〈障害者福祉×アート×人権〉

[2023.12.5-8]



その他連携の取組み

● PKアート〈スポーツ×アート〉

ガンバ大阪との連携により、白いキャンパスに絵具の付いたボールを蹴ってアート作品を完成させる。



● ゲームミュージックコンサート〈ホール×ゲーム〉

「ゼノブレイド」シリーズの音楽を手掛ける作曲家で本市出身の平松建治氏と関西フィルハーモニー管弦楽団によるゲーム音楽のコンサート。

▶ より多様な方がおにクルを訪れるきっかけとなる
とともに、新たな出会いの創出に

おにクルファミリーキャンプ [2024. 8. 13-14]

整備に向けた取組みの中で、参加者から出たアイデア
「泊ってみたい!」を実現

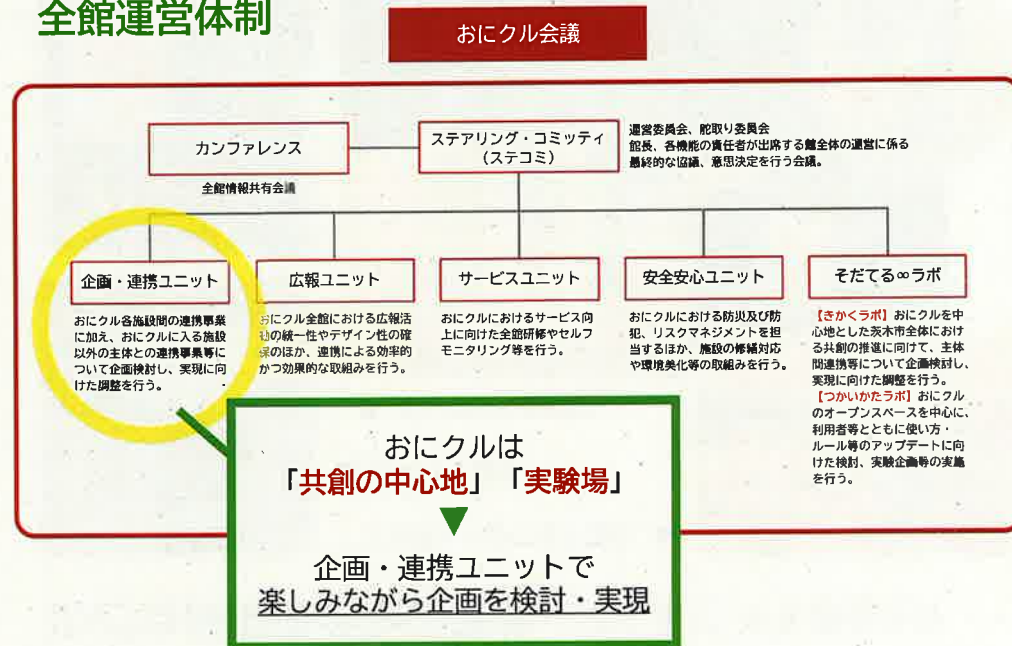
おにクルファミリーキャンプ タイムテーブル		チケット販売	事前予約受付	予約
8/13 (火)		14:00	14:30	15:00
7階	おにクルファミリーキャンプ	15:00	15:30	16:00
6階	おにクルファミリーキャンプ	16:00	16:30	17:00
5階	おにクルファミリーキャンプ	17:00	17:30	18:00
4階	おにクルファミリーキャンプ	18:00	18:30	19:00
3階	おにクルファミリーキャンプ	19:00	19:30	20:00
2階	おにクルファミリーキャンプ	20:00	20:30	21:00
1階	おにクルファミリーキャンプ	21:00	21:30	22:00
8/14 (水)		14:00	14:30	15:00
7階	おにクルファミリーキャンプ	15:00	15:30	16:00
6階	おにクルファミリーキャンプ	16:00	16:30	17:00
5階	おにクルファミリーキャンプ	17:00	17:30	18:00
4階	おにクルファミリーキャンプ	18:00	18:30	19:00
3階	おにクルファミリーキャンプ	19:00	19:30	20:00
2階	おにクルファミリーキャンプ	20:00	20:30	21:00
1階	おにクルファミリーキャンプ	21:00	21:30	22:00

おにクルファミリーキャンプのしおり



2024.8.13-14

全館運営体制



▲ 1階 もつくる

館内20か所に
テントサイトを設置



5階 ぶっくぱーく ▶



すいか割り



謎解き企画



カレーづくり



ゲームセンターおにクル



鬼来怪談会



館内放送体験

NHKのだ自慢 [2024. 9. 8]



ただの会場に留まらないのが
「共創の中心地」 「実験場」



企画・連携ユニットで
関連企画を検討・実現



のだ自慢関連企画の実施 [2024. 9. 7] ※予選会の日



ゴウダホールでは予選会 ▶

◀ いばらき自慢

▼ ざんねんのだ自慢



第37期 竜王戦 七番勝負 第四局 [2024.11.15-16]



竜王戦関連企画の実施

市関連部署のほか、将棋連盟茨木支部、商工会議所、観光協会、文化振興財団等による実行委員会を立ち上げ、竜王戦開催に向けた取組みを進めているほか、関連企画を多数開催。

- ・おにクル縁台将棋
- ・ゆかりの棋士のおすすめスポットMAP
- ・将棋スタンプラリー
- ・竜王山で竜王戦ツアー
- ・将棋の駒づくりワークショップ
- ・ゆかりのプロ棋士トークイベント 等



「様々な活動が行われてる」っていうけど、おにクルでよく言われている「活動」ってどんなの？

茨木市における 市民活動支援について

市民活動＝市民公益活動ともいう

→「(身内ではない)誰かのために」という視点をもって行う活動

多いのは…

- ①地域(社会)課題などの解決に向けてする活動
- ②まちを盛り上げたい、みんなを楽しませるイベントをしたいと思ってる活動

- ①地域（社会）課題などの解決に向けてする活動
- ②まちを盛り上げたい、みんなを楽しませたいと思ってするイベントなど

①の例

発達凸凹サークルそのまんま

- ・発達に遅れがあるこどもとその保護者、またそうでない親子が交流できる遊び場づくり
- ・こどもの発達について知れる展示
- ・保護者同士が情報交換できる場づくり



②の例

芝のみ 盆踊り

盆踊りをまちの真ん中の開かれた場で開催し、地域や年齢に関係なく、文化継承のきっかけとしつつ、地域愛を深めることを狙いとしたイベント。



活動支援に向けた取組み（おにクルでの活動をサポート）

■おにクルは市民の活動の場

市民が主役 “やってみる”

ふらっと訪れた人が“出会える”場



■支援する仕組みが必要

自由に活動を展開しすぎると、来館者との摩擦を生むかも（音や通路の確保など）

→活動をちょっと良くする人が必要

■活動の内容や見せ方などの助言

市民活動センターにコーディネーターを配置

オープンスペースでのイベントをサポート

（イベント全体のレイアウトなど）



Before



After

活動支援に向けた取組み

■市民活動センター

- ・スキルアップ講座（会計、活動資金、チラシやHP作成、団体が法人格を取る方法、など）
- ・夜カフェ（ふらっと立ち寄れる場。テーマに沿った話題提供→語り合える）
- ・きゃぱすday（テーマを設定して出展団体を募り、活動の場のひとつとしてもらう）
- ・はじめてチャレンジ企画（今まで活動をしたことのない方を募集し、市民活動コーディネーターがサポートしてみんなでやってみる企画）



使い方を一緒に実験

開館してすぐに、オープンスペースでの活動が他の来館者に与える影響などを検証するため、市が無料で場所を貸し出し、コーディネートしながら、実験的に活動する企画を実施。



【左】ホール公演時のホワイエ

【右】実験で盆踊り会場として使用

